

令和4年度 後期 学校評価アンケート（12月実施）の集計結果をお知らせします

まだまだ寒さ厳しい折ですが、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育活動に対し、ご理解とご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。

さて、12月には「学校評価アンケート」について、お忙しい中ご回答いただきありがとうございました。集計ができましたので、主な項目についてご報告いたします。

学校教育目標「学び合い 自らを高める 大淵の子」、重点目標は、「自分から ことばで伝えよう！」に変わり2年目が終わります。今年度も「ことば」を意識し、子どもたちに主体性を育むことを課題とし、自分の意志、判断に基づいて、何事にも前向きに行動（表現）する子を目指し、その育成に取り組んできました。

さて、学校評価アンケートの結果ですが、多くの質問項目において、「とてもそう思う」「そう思う」の肯定的な意見を合わせると、80%を超えていることから、後期も、学校全体として、保護者の皆様と職員とで足並みをそろえ、子どもの指導、支援をしていることが分かりました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

また、質問項目の1から3より、子どもたちの多くが学校に楽しく通い、友達と関わり合いながら、有意義な生活を送れていることが分かり、とてもうれしく思います。子どもたちが毎日、学校に楽しく登校していることが多いことが何よりもうれしいことです。重点目標にある「ことば」を大切にす手始めとして、人との関わりの第一歩となる「挨拶」に、重点的に取り組んできました。質問項目12「子どもたちは、友達や地域の方、学校の職員に進んで元気なあいさつをしている。」が挨拶に関する項目ですが、これも子ども、職員での肯定的な意見の数値が高くなっています。今年度は、職員の中でも「元気に挨拶をしてくれる子が増えています。特に、他学年の子も挨拶をしてくれるので、うれしいです。」というように、高学年が挨拶の手本となり、学

令和4年度 後期学校評価 児童・保護者・教員調査結果 比較(令和4年度12月実施)					
A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない					
質問項目	(%)	令和4年度 後期(12月実施)			
		A	B	C	D
1 子どもたちは、学校(学級)で楽しく通っている。	児童	50.7	40.0	5.5	3.7
	保護者	35.9	56.6	5.4	2.1
	教師	38.0	63.0	0.0	0.0
2 子どもたちは、友達と協力して仲良く学校生活をしている。	児童	58.7	34.8	3.0	3.4
	保護者	30.1	60.9	7.0	1.9
	教師	21.0	71.0	8.0	0.0
3 子どもたちは、授業で学ぶことや友達と学ぶことに楽しんで取り組んでいる。	児童	43.8	44.1	8.0	4.0
	保護者	26.0	61.0	10.7	2.4
	教師	25.0	75.0	0.0	0.0
4 子どもたちは、授業で教師や友達の話をつかろうとして聞いたり、自分の意見分かるようにを伝えたりしている。	児童	31.1	51.7	15.1	2.2
	保護者	16.1	64.6	15.6	3.7
	教師	8.0	88.0	4.0	0.0
5 子どもたちは、授業で勉強している内容が分かっている。	児童	56.7	37.3	4.5	1.5
	保護者	12.9	69.3	15.3	2.6
	教師	0.0	92.0	8.0	0.0
6 子どもたちは、進んで家庭学習に取り組んでいる。	児童	42.4	42.6	12.5	2.6
	保護者	15.3	45.9	30.4	8.4
	教師	8.0	67.0	21.0	4.0
7 子どもたちは、学校図書館をよく利用し、学校や家庭において進んで読書をしている。	児童	30.4	31.0	23.3	15.3
	保護者	17.4	35.9	33.7	13.0
	教師	21.0	71.0	8.0	0.0
8 先生が、書画カメラでノートや資料を大きく写したり、電子黒板(プロジェクター)で写真や動画を見たりするじゅぎょうは、分かりやすい。授業でもよく使っている。	児童	57.0	35.6	4.5	2.9
	保護者	20.1	67.6	11.7	0.6
	教師	53.0	37.0	11.0	0.0
9 タブレットパソコンをつかってべんぎょうすることは、学びやすく、分かりやすい。授業でよく使っている。(3年生以上)	児童	37.5	49.8	12.0	0.8
	保護者				
	教師	47.0	47.0	5.0	0.0
10 タブレットパソコンは、3S(スタディ・セーフティ・セルフコントロール)をいしきて、すすんでつかっている。(3年生以上)	児童	38.0	47.5	13.3	1.3
	保護者				
	教師				
11 子どもたちは、お互いに「さん」をつけて呼んだり、あたたかい言葉遣いで話したりしている。	児童	37.8	42.7	12.4	7.0
	保護者	16.6	63.1	13.6	6.7
	教師	13.0	67.0	21.0	0.0
12 子どもたちは、友達や地域の方、学校の職員に進んで元気なあいさつをしている。	児童	45.9	37.2	11.9	5.0
	保護者	13.0	59.1	25.3	2.6
	教師	13.0	75.0	13.0	0.0
13 子どもたちは、お互いに思いやりのある態度がとれている。	児童	42.1	46.4	9.8	1.7
	保護者	16.1	72.6	10.7	0.6
	教師	13.0	83.0	4.0	0.0

校に広めていました。今後も児童会を中心とした挨拶活動を生かし、子ども同士の関わり合いを大切に、子どもたち一人一人に学校や学級に居場所があるように努めていきます。

また質問項目13「子どもたちは、お互いに思いやりのある態度がとれている」でも、3者ともに高い数値となっています。今年度は、下校中にけがをした子を見て、学校に戻ってきて、職員にけがの様子を教えることが、何件もありました。縦割りグループ集会でも、子ども同士がゆずり合う場面が多くありました。子どもたちの思いやり、優しさを感じます。このような子どもたちの良い行動、また、気になる行動を昼の放送で生徒指導主任が伝えたり投げ掛けたりし続けてきました。良い行動は模倣して広まり、気を付けたいことは、互いに声を掛け合い正していくといった主体的な姿が広がってきています。

さらに、質問項目18「子どもたちは、ふっちー体操や体育の授業、休み時間によく外へ出て体を動かしている」でも、子どもの数値が昨年度より6.9ポイント上がりました。今後も工夫して、子どもたちが少しでも運動に楽しんで親しむ機会を増やし、体や心を鍛えていきたいと思えます。「ふっちー体操」については、静岡県で毎年開かれている「体力アップコンテスト」のアイデア勝負部門で表彰されることになりました。本校職員と6年生児童で表彰式に参加します。ホームページにも掲載されていますので、よろしければご覧ください。

一方で気になる数値が質問項目15「子どもたちは、自分に良いところがあると感じている。」で否定的な意見の子どもが(C、Dを合わせた数)20.5%(前期27.0%)で依然と数値が高いことです。この数値は、今年度前期、また昨年度後期よりは、下がってきています。少しずつ肯定的な人数は減少傾向にありますが、今後も子どもたちが自分に自信をもてるよう、あらゆる場面を生かし、一人一人の子どもを理解しながら、その子に応じた活躍の場を設け、その子なりの頑張りを適切に認めていきます。自己肯定感を高めるために自己有用感を育むことを意識していきます。ご家庭でもお子さんの頑張りを見届け、大いに認めていただきたいと思えます。自分の頑張りを的確に認められることで自信となり、次への意欲につながります。

また、質問項目26、27の学校協議会については、次の保護者の記述からのところで触れたいと思えます。

令和4年度 後期学校評価 児童・保護者・教員調査結果 比較(令和4年度12月実施)					
A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない					
質問項目	(%)	令和4年度 後期(12月実施)			
		A	B	C	D
14 子どもたちは、めあて(目標)に向かって学校生活している。	児童	38.6	41.7	13.3	6.4
	保護者	8.1	57.6	31.7	2.6
	教師	4.0	71.0	25.0	0.0
15 子どもたちは、自分に良いところがあると感じている。	児童	38.5	33.7	16.4	11.5
	保護者	10.6	69.0	19.9	0.6
	教師	4.0	79.0	17.0	0.0
16 子どもたちは、「自分の命は自分で守る」を意識し、安全(落ち着いた)行動をしている。	児童	43.2	46.6	8.1	2.2
	保護者	14.0	64.7	16.0	5.3
	教師	4.0	58.0	38.0	0.0
17 子どもたちは、もしも、地震や火事が起こったとしても「自分の命は自分で守る」を意識し、安全(落ち着いた)行動ができるように、訓練に取り組んでいる。	児童	57.0	37.7	4.0	1.6
	保護者	8.6	64.1	23.4	3.9
	教師	29.0	71.0	0.0	0.0
18 子どもたちは、ふっちー体操や体育の授業、休み時間によく外へ出て体を動かしている。	児童	59.4	24.2	12.3	4.1
	保護者	23.1	53.7	20.0	3.1
	教師	25.0	63.0	13.0	0.0
19 子どもたちは、生活の約束を守っている。	児童	37.8	49.6	9.1	3.5
	保護者				
	教師	17.0	75.0	8.0	0.0
20 学校は、子どもの安全を確保するための取組や努力をしている。	児童				
	保護者	17.9	75.4	6.1	0.6
	教師	33.0	58.0	8.0	0.0
21 子どもたちは、困ったことや、悩みがあるとき、学校に相談できる職員がいる。	児童	39.0	35.7	15.3	9.7
	保護者	18.1	61.9	15.9	4.1
	教師	5.0	79.0	0.0	0.0
22 学校だよりや学年だより、保健だより、給食だよりなどで学校の様子が分かる。(開かれた学校)	児童				
	保護者	20.6	68.9	9.3	1.3
	教師				
23 本校は、安心して子どもたちを任せられる学校である。	児童				
	保護者	23.7	70.4	5.0	0.9
	教師	29.0	71.0	0.0	0.0
24 子どもたちは、授業に必要なものを忘れず持ってきている。	児童	26.0	47.8	20.4	5.8
	保護者				
	教師	4.0	71.0	25.0	0.0
25 子どもたちは、委員会や係、当番の仕事、掃除をだまっしてすることなどに進んで取り組んでいる。	児童	36.9	48.8	10.5	3.8
	保護者				
	教師	13.0	71.0	17.0	0.0
26 本校は、学校運営協議会を置く、コミュニティ・スクール3年目(CS、地域と共にある学校)です。本校が、コミュニティ・スクールであり、コミュニティ・スクール・ディレクター(CSD)が、中心となり地域や保護者と学校をつなげていること知っている。(開かれた学校)	児童				
	保護者	5.9	36.0	43.9	14.3
	教師				
27 本校は、学校運営協議会を置く、コミュニティ・スクール(CS、地域と共にある学校)です。都合が合えば、ぶちっ子サポーターとして協力し、活動してみたい。(開かれた学校)	児童				
	保護者	9.1	55.3	27.3	8.3
	教師				

保護者の皆様からの声（複数記述）

(1) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール：略してCS）について

- ・CSD（コミュニティ・スクール・ディレクター）とは具体的にどのような事で、どのような方々の事でしようか？（1年生保護者）
- ・学校運営協議会でどのような内容が話し合われているのか分からない。（3年生保護者）

静岡県教育委員会

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的推進により 子供が育つ、学校・地域づくりを

コミュニティ・スクールとは？

学校運営協議会を設置した学校

学校運営協議会とは？

法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する**合議制**の機関

学校運営協議会主な3つの役割

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- ②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる事ができる
- ③教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べる事ができる

（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5）

学校運営協議会で協議(例)

校長 9月の防災訓練で、4年生が「応急処置」を学びたいと言っています。

委員1 子供たちが「自ら動き出した」チャンスですね。

委員2（地域学校協働活動推進員） 地域の方に協力できる人がいるか聞いてみましょうか。

委員3 地域で大人と子供と一緒に防災について考えるいい機会ですね。

委員4 子供たちが主体的に活動できるようにしたいですね。

地域学校協働本部とは？

幅広い地域住民や団体等の参画により形成された緩やかなネットワーク

地域学校協働本部の3つの要素とは？

- ①コーディネート機能
- ②多様な活動
- ③継続的な活動

地域学校協働活動とは？

学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動
（社会教育法第5条第2項、第6条第2項）

具体的にどんな活動？

例：授業補助、読み聞かせ、登下校の見守り、行事支援、体験的な活動、家庭教育支援、キャリア教育支援、放課後子供教室（しずおか寺子屋）、地域の行事・イベント、ボランティア活動、学びによるまちづくり等

地域学校協働本部 緩やかなネットワーク

僕らも参加させてもらいたいな。救急隊員で、処置法について話をさせてもらえるかな。

看護師さんが僕の住んでいる地区にいますか。頼んでみようか。

看護師さんがいたら体験活動もできそう。子供たちが自分でやってみることはとてもいいですね。保護者の方にもいざという時に役立ちそう。声をかけてみるわ。

自分のお店も協力させてもらいます。炊き出しも出来ますよ。

防災訓練で、子供たちが応急処置を学んだけど良い方法があるかしら？

学校(コミュニティ・スクール) ↔ 地域

学校運営協議会 ↔ 地域学校協働本部

学校運営、その運営に必要な支援に関する協議など ↔ 地域学校協働活動

地域学校協働活動

委員として参画 ↔ 人材・活動などのコーディネート

地域学校協働活動推進員

地域と目標やビジョンを共有

地域住民等と学校との連絡調整等を行うコーディネーター役
（社会教育法第9条の7）

地域住民 保護者 PTA 社会教育施設・団体 文化団体 企業 NPO 団体

資料書：「これからの学校と地域」より引用

学校と目標やビジョンを共有

地域と目標やビジョンを共有

地域学校協働活動推進員

防災訓練で、子供たちが応急処置を学んだけど良い方法があるかしら？

自分のお店も協力させてもらいます。炊き出しも出来ますよ。

看護師さんが僕の住んでいる地区にいますか。頼んでみようか。

看護師さんがいたら体験活動もできそう。子供たちが自分でやってみることはとてもいいですね。保護者の方にもいざという時に役立ちそう。声をかけてみるわ。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるためには、学校と地域が**目標やビジョンを共有**することが重要です。その上で、幅広い地域住民等が**参画**することで、教育活動や地域学校協働活動の充実となり、学校・地域づくりにつながります。

上の図は、静岡県教育委員会より出されている学校運営協議会の図です。学校運営協議会を設置する学校が、コミュニティ・スクール（CS）と呼ばれます。富士市の小学校は、すべてコミュニティ・スクールとなっています。コミュニティ・スクールは、「地域とともにある学校づくり」を目指す学校です。学校・地域・保護者が一体となって、子どもたちのために力を合わせ、学校運営に携わる仕組みです。

本校は、コミュニティ・スクールとなり、3年目が終わります。学校運営協議会の委員の方は、15名で、小学校、中学校、幼稚園、まちづくり協議会、地域の代表の方々と構成されています。今年度は、5月23日、9月29日、11月29日、2月16日の4回、学校運営協議会が実施されました。その内2回は、大淵第二小学校の学校運営協議会と合同で行いました。「子どもの笑顔があふれる大淵」にするために協議したり、子どもたちのためにどんなことができるか意見を出し合ったりしました。また、大淵第二小学校の編入統合に向けて、大淵第二小学校の委員の方、また保護者としての思いも伺いました。具体的な活動としては、登下校の見守り、読み聞かせ、図書ボランティア、購買販売ボランティア、自習時間の見守りなどでご協力いただきました。本当にありがとうございました。活動については、報告していきます。

今後も、地域の方・保護者の皆様には、ご都合のつく時に、ご自身の得意な分野で、子どもたちのためにお力をお貸しいただければと思います。現在、学校では、環境整備、特に植木の伐採、花壇の手入れ・世話、トイレ・水回りの清掃、休み時間の運動場の見守り、学習面では放課後の学習の補助、自習の見守りなどに困っています。ご協力いただける方は、ぜひご連絡ください。来校の際は授業参観ではありませんが、学校の様子をみていただくこともできる場合があります。

(2) 便りについて

- ・便りだけでは様子があまり分からない。ホームページなどで、もう少し日常を見られたりしたら、何をやったのか、どんな事をしているのか知れてうれしい。(1年生保護者)
- ・写真が白黒でわかりづらい。大事な部分分かりにくい。(1年生保護者)
- ・授業風景や子どもの様子は、学校だよりなどには載っていないので、よく分からない。(3年生保護者)

子どもたちを学校での様子をなるべくお伝えしたいと思い、写真を活用していますが、分かりにくくなり申し訳ありません。写真をカラーにする、ホームページにアップするなど考えられます。例えば、写真をカラーにしてお配りするためには、印刷機ではなくコピー機(カラー)を使うこととなります。そうすることで印刷代がすごく増えることになり、学校では賄えません。また、ホームページに便りをアップすることも考えられますが、現在本校のホームページが外部からの違法な進入が可能な形式を変更するため、職員では簡単にアップできない仕組みになっています。改善後は、ホームページへの便りのアップも考えられますが、現在は、白黒印刷による配付となっております。さらに今後は個人情報保護の観点から保護者の皆様にご承認いただけるようになれば、メールを利用した配信も可能になるかもしれません。

(3) 算数科の授業体制について

- ・2人体制の授業をしていることを今回初めて知りました。娘は学校の話をお話さないので、2人体制の授業のイメージが湧きません。参観などで実際の様子が見られると良いと思います。(2年生保護者)
- ・少人数で算数の授業をやってくれているのはわかりませんでした。夢チャレンジを4年生までやってほしいです。(4年生保護者)

2年生では、算数科をT.T(ティーム・ティーチング)、学級担任とT.T担当(級外職員)の2人で、週5時間のうちの3時間を行っています。主に担任が授業を進め、担当が子どもたちの学習の状況を見取り、困っている子、つまづいている子を中心に、その子にあわせた支援を行っています。問題を解いているときには、2人で子どもたちの学習状況を見取り、支援します。

3、4年生は、3学級を4人の教師(担任と担当)で授業を行う少人数体制で、週5時間の算数の授業を実施しています。3年生は90人、4年生は97人ですので、4学級に分けると、1学級が3年生は22人、4年生は24人くらいになります。人数がいつもより少なることで、子どもたちが話しやすくなったり、教師が子ども一人一人を見取りやすくなったりします。来年度以降も、2、3、4年生あたりで、算数科のT.T(ティーム・ティーチング)や少人数体制を取り入れることで、基礎基本の確実な定着を図り、高学年につなげていきたいと考えています。

(4) 本校の良いところ

- ・子どもの気持ちを尊重してくれていてありがたいです。いつもありがとうございます。(1年生保護者)
- ・先生がとても親切にしてくださるので、子どもも安心して学校へ行っています。何か困った事などがあった時に、本人から先生へ伝えやすい事も大変うれしく思います。毎日本当にありがとうございます。(2年生保護者)
- ・子どもが欠席した時も気にかけて連絡下さりとてもうれしかったです。学校で何かあってもすぐ電話で教えていただけるので相談もしやすく安心して子どもを通わせることができています。(3年生保護者)
- ・こんな相談しても大丈夫かなとためらったこともありましたが、子どもの為にといい相談してみたら真剣に話を聞いていただき、解決していただいた時は本当に心がホッとしました。(4年生保護者)
- ・先生や事務室の方がとても親切に対応してくださり感謝しています。ありがとうございます。(5年生保護者)
- ・先生方が子どもに対してとても親身になってくださる。(6年生保護者)
- ・たくさん先生方が、子どもや保護者の私にも温かい言葉をかけてくれます。安心して子どもたちを預けられます。(ひまわり学級保護者)

後期も、職員の言動、子どもたちへの対応などについてもご指摘いただきました。個々の職員の至らない点、力不足の点につきましては、改善するよう管理職から指導しています。また、学校として、学年として「チーム大淵」で対応することで、職員の授業力や指導力などがより向上するようにしていきます。一方では、保護者の皆様から、上記のようなうれしい言葉も多くいただきました。今後もどの子にも、学校、学級に居場所があるよう、授業や休み時間などあらゆる面で子ども一人一人の理解に努め、その子らしさを発揮できるよう支援、指導していきます。保護者の皆様におかれましても、どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。